

はじめに

岐阜県では、令和2年1月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の波に対して、県民の生命と健康を守るため「オール岐阜」体制で感染対策に取り組んでまいりました。令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は、季節性インフルエンザと同じ5類感染症に位置づけられましたが、感染力は非常に強く、高齢者や基礎疾患のある方の重症化リスクが高いことなど、実態は依然として変わるものではありません。引き続き、感染防止対策や医療提供体制の整備について、取り組んでまいります。

飛騨保健所としましても、感染状況を丁寧に把握し、日頃から関係者の皆様方と連携することで、飛騨地域の医療体制の整備に努めてまいりますので、皆様の御支援と御協力をお願い申し上げます。

さて、このたび、飛騨地域の保健衛生の概要をまとめた令和4年度統計版の『飛騨圏域の公衆衛生2023』を発刊させていただきました。

本冊子の歴史は古く、旧高山保健所の時代の昭和30年に「公衆衛生便覧」として発刊し、昭和39年からは飛騨公衆衛生協議会の御支援のもと「飛騨の公衆衛生」と名称を変更して発刊を続けてまいりました。

同様に、旧益田保健所においては、益田公衆衛生協議会の御支援のもと、「益田の公衆衛生」が発刊されました。

「飛騨の公衆衛生」と「益田の公衆衛生」の発刊は、旧高山保健所と旧益田保健所がそれぞれ別の保健所であった平成11年度まで続き、平成12年度の県組織の再編により飛騨地域保健所となって以降、今日まで『飛騨圏域の公衆衛生』として毎年発刊する運びとなっています。

本冊子を業務の参考として広く活用していただければ幸いです。

令和6年3月

飛騨保健所長 氏平 高敏

